



令和5年度「ちっちゃい探検隊③」 実施報告書



I 事業の概要

1. 期 日 令和6年3月2日(土)～3日(日) 1泊2日

2. ねらい

- ・ 親元を離れ、大自然の中で仲間と生活することを通して、自分で行動する自信をつける。
- ・ 班の中で自分の意見を言えたり、友だちの意見を聞いたりすることができる。
- ・ 友だちと力を合わせて活動することを楽しいと感じることができる。

3. 参加対象 小学校1～3年生

4. 応募者 50名

5. 参加者 33名 (学生サポーター 14名)

6. 参加費 3,300 円

7. 日 程

3月2日(土)		3月3日(日)	
10:30	受付	6:30	起床
11:00	出会いのつどい	7:00	朝のつどい
11:35	交流レクリエーション ～みんなと なかよくなるう～	7:20	そうじ・片付け
12:20	昼食	8:00	朝食
13:30	オリエンテーション	8:50	退所点検
14:15	館内オリエンテーリング ～きぞくの あそびに チャレンジ～	9:10	宝さがし ～三人かんじょを つかまえろ～
16:00	クラフト ～オリジナルひなかざりをつくろう～	10:00	ピザ作り ～ひなまつり ピザパーティー～
17:30	夕食	13:30	振り返り・感想記入
18:45	夜の音さがし ～五人ばやしを さがそう～	14:30	別れのつどい
20:00	入浴	15:00	解散
21:15	消灯		

II 実施状況

■1日目の活動の様子 <3月2日(土) 天候 雪>

ちっちゃい探検隊③では、33名の参加者と、活動を支える学生サポーターとして島根大学・鳥取大学・鳥取短期大学より合計14名の学生が集い、1泊2日の日程で開催した。初めて「ちっちゃい探検隊」に参加する子どもや、親元を離れることに不安を感じている子どももいたようだが、学生サポーターに優しく声を掛けてもらって一緒に過ごすことによって、次第に安心して過ごせるようになっていった。

出合いのつどい終了後、いよいよ活動プログラムが始まる。船上山少年自然の家のマスコットキャラクター「オンダキくん」と「メンダキちゃん」のペープサートが子どもたちの前に現れた。二人が「明日は3月3日、ひなまつりパーティーをしよう!」と呼びかけると、参加者たちは一気に盛り上がった。

「交流レクリエーション ～みんなと なかよくなろう～」では、「まずはみんなと仲良くなろう」という目的で、指導員や学生サポーターの進行のもとで活動をした。じゃんけんゲームや自己紹介などを通して次第に参加者同士の仲を深め、緊張をほぐしていった。

「館内オリエンテーリング ～きぞくの あそびに チャレンジ～」では、雛飾りが生まれたとされる平安時代の「貴族の遊び」をモチーフにした課題解決型ゲームに臨んだ。班ごとに力を合わせて挑戦し、ゲームをクリアするたびに雛飾りの材料を獲得していった。

「クラフト ～オリジナルひなかざりをつくろう～」では、折り紙・紙皿・リボンといった材料を組み合わせて吊るし雛を作った。それぞれ工夫を凝らしたオリジナルの雛飾りを作ることができて、参加者たちは満足した様子であった。

「夜の音さがし ～五人ばやしを さがそう～」は、館内のどこかに隠れて音を鳴らしている「五人囃子」に扮した学生サポーターを探す活動である。暗い中での活動を怖がっていた参加者もあったものの、友だち同士で励まし合い、静かに耳をすませながら活動に取り組んでいた。五人囃子に教えてもらったヒントをもとに秘密の言葉「ひなまつり」を全ての班が導き出すことができたため、どの班も晴れてピザのレシピを獲得することができた。翌日のピザパーティーに向けて期待に胸を膨らませながら、1日目の活動は幕を閉じた。

■2日目の活動の様子 <3月3日(日) 天候 晴れ>

2日目は、いよいよピザ作りの予定である。しかし、前日に獲得したはずのレシピなど、ピザ作りに欠かせない大事な物(レシピ、麺棒、ドライイーストと砂糖)が盗まれたという知らせが子どもたちのもとに届く。続けて「大事な物を盗んだのは『三人官女』らしい!」と指導員が告げ、活動が幕を開けた。

「宝さがし ～三人かんじょをつかまえろ～」は、ピザ作りに欠かせない大事な物を盗んで館内のどこかに逃げている、指導員扮する「三人官女」を見つけ出す活動である。前日の五人囃子を探した



経験をもとに館内のあらゆる場所を探すが、三人官女はなかなか見つからない。班ごとに配られた館内図を手掛かりに、無線機で他の班と連絡を取り合いながら三人官女を探し出し、見事盗まれた物を全て取り返すことに成功した。

最後の活動「ピザ作り ～ひなまつり ピザパーティー～」では、前日に作った吊るし雛を飾り、ピザを作ってパーティーをした。友だちや学生サポーターと力を合わせて焼き上げたピザを、どの子も「おいしい、おいしい。」と喜んで頬張っていた。全ての班がピザを食べている頃、どこからか見守っていた「オンドキくん」と「メンダキちゃん」から館内放送で参加者へのメッセージが届けられた。

別れのつどいは、各班代表として6人の参加者が感想を発表した。参加者たちは、1日目に製作したオリジナルの吊るし雛を大切に持ち、友だち・学生サポーター・指導員との別れを惜しみながら、保護者の方と一緒に帰っていった。



Ⅲ 総括

1. 参加者の感想(抜粋)

- ・はんでまわってゲームをしたのがたのしかったです。ごはんがおいしかったです。三人かんじょをみつけるのがたのしかったです。ピザをじょうずにつくれました。みんなのつくったピザがおいしかったです。(1年生)
- ・わたしは、ぜんぶが楽しかったです。そのうち、クラフトが楽しかったです。おびなはにじ色のふくをきていて、めびなはおけしょうをして、本も読んでいました。つきも船上山に行きたいぐらい楽しかったです。(2年生)
- ・きぞくの遊びにチャレンジして、クラフトでひなかざりを作ったり、たからさがしをしたりして、楽しいパーティーができてうれしかったです。一番楽しかったことは、みんなでピザ作りをしたことです。きじから作っておいしくできて、うれしかったです。家でもピザを作りたいです。2日間短かったけど、いろいろな思い出ができて楽しかったです。(3年生)

2. 成果

- ・「きぞくのあそび」「ひなかざり」「五人ばやし」「三人かんじょ」と、一貫したコンセプトに基づいて活動の設定ができた。
- ・どの活動も難易度や時間設定が適度で、参加者は満足している様子だった。
- ・学生サポーターの支援によって、参加者が活動により積極的に参加しようとする様子が見られた。

3. 課題

- ・館内オリエンテーリングの「小弓」に時間がかかった。矢を弓にかけるのが難しかったようである。
- ・館内オリエンテーリングの「石投」を行うスペースが狭くて寒かった。
- ・雪のため、2日間通して「館内を探して回る活動」が続くことになった。